

# 日本外交文書

滿州事變 別卷

外務省

## 序

近代日本の対外関係の展開を示す基本史料である「日本外交文書」は、外務省において昭和十一年に明治元年の第一巻を編さん以来、現在では大正十一年まで計一三五巻を出版するに至った。

さらに当史料館では、一般の要望に応えるため、大正期と並行して昭和期の外交文書を公刊すべく鋭意準備を進めてきたが、このたび「満州事変」に関する外交文書を発刊する運びとなった。満州事変は、日本外交史上のみならず、国際政治の上でも重大な転換期を画し、昭和期外交文書の嚆矢を飾るに相応しい歴史的意義をもつものと認められる。

激動の時代と称せられる昭和期日本の対外政策とこれをめぐる国際環境について、本書が正確な史実を提供し、内外の外交問題研究者の研究に資するとともに、今後のわが国外交政策の樹立にあたって何らかの寄与をなし得れば幸いである。

昭和五十二年三月

外務省外交史料館長

## 例 言

一、日本外交文書「滿州事変」は、第一卷（三冊）、第二卷（二冊）、第三卷（一冊 近刊）および本別巻計七冊よりなり、各巻の構成はほぼ次の通りである。

第一卷 一九三一年九月より同年十二月まで

第二卷 一九三二年一月より同年九月まで

第三卷 一九三二年十月より一九三三年五月まで

別 巻 国際連盟調査委員会報告書その他

二、本別巻に収録したのは、調査委員会報告書（いわゆるリットン報告書、英文・外務省訳文）、同報告書にたいする日本政府意見書（日本文・英文）および日本政府意見書にたいする中国代表コメント（英文）である。

英文については国際連盟事務局作成の公報（国立国会図書館所蔵）を、日本文については外務省作成の刊本を、それぞれテキストとして写真印刷に付した。

# 滿州事變別卷

## 目次

- I 「國際連盟調査委員會報告書」……………1
- II 「國際連盟支那調査委員會報告書ニ対スル帝國政府意見書」……………二九一

---

- I Report of the Commission of Enquiry …………… 1
- II Observations of the Japanese Government on the Report of the Commission of Enquiry …………… 149
- III Communication from the Chinese Delegation …………… 189